



群馬県議会議員

かない

金井やすお

Kanai Yasuo Activity Report

Vol.30

県政報告レポート

群馬県議会自由民主党
金井やすお後援会事務所
〒378-0051 沼田市上原町 1697
TEL0278-25-8981 FAX0278-25-8982

ぶれない!
こびない!
わかりやすい!

選ばれたまち沼田へ

選ばれるまち沼田から

2月22日代表質問を行いました
(国道17号バイパスについて質問中)



やすお金井

群馬県議会議員

金井やすお

Profile

昭和44年2月16日、群馬県沼田市東倉内町に、父・弘夫、母・はまえの7人兄弟の長男として生まれた。

父がパーキンソン病を患い、平成7年議員を辞職。これをきっかけに、地元からの推薦で市議会議員に立候補。当選を果たす。

当時、26歳であり、群馬県内最年少記録をつくる。以後、4期連続当選。議員活動の傍ら、16年間父親の介護を行う。

平成19年、若干38歳であったが、沼田市議会議長に就任する。さらに、翌年平成20年には群馬県市議会議長会長、および全国市議会議長会理事の任にも就く。

平成22年、群馬大学大学院に入学し、沼田市の自然と時代を結びつけるには、もっと知識を得なければと奮起し、「自然環境」と「公共政策」の修士を取得。

平成23年、群馬県議会議員に初当選。

平成27年、群馬県議会議員2期目、当選。

平成28年、環境農林常任委員長。

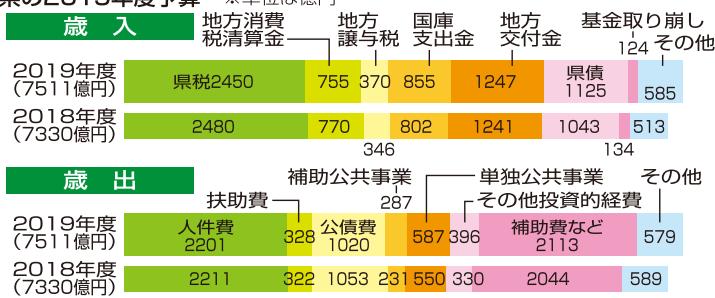
平成29年、厚生文化常任委員長。

平成30年、自民党県議団長。

現在、母・妻・長男との4人暮らし。

平成31年度一般会計 7,511億円 大澤県政最大規模

県の2019年度予算 ※単位は億円



家計簿に例えた2019年度県当初予算額(県予算を10万分の1に圧縮して算出)
収入 支出

給料・基本給(県税など)	321万円	生活費(人件費)	220万円
給料・諸手当(地方交付税など)	165万円	医療・介護費(扶助費)	33万円
パート収入(使用料や手数料など)	20万円	ローン返済(公債費)	102万円
奨学金など公的助成(国庫支出金)	86万円	家の修繕・増築費(公共事業費など)	127万円
土地売却収入など(財産収入)	1万円	家族への仕送り(補助費など)	211万円
ローンの借り入れ(県債)	13万円	その他(貸付金や物件費など)	58万円
預金の取り崩し(積込金)	21万円	合計	751万円
その他(諸収入など)	24万円	ローン残高(年度末県債残高見込み)	705万円
合計	751万円	上毛新聞2月8日掲載	

後援会新規入会の方が多いいらっしゃれば、後援会事務所までご一報いただければ幸いです。

TEL.0278-25-8981 FAX.0278-25-8982

平成31年度 県民の暮らしはこう変わります

項目	内 容	今まで	→ こう変わります
子育て・家族形成支援	幼児教育・保育の無償化 3歳から5歳児の保育料を無償化(0歳から2歳児は非課税世帯のみ無償化)	保育料は国が定める上限額の範囲内で、保護者の所得を基に市町村が設定	→ 10月から保育料を全額公費負担(食材料費などの実費徴収あり) ※幼稚園については、月額2,577円を上限
	妊娠期からの虐待予防強化 虐待の予防・早期発見のため、妊娠の相談窓口の拡大や相談後のサポートの充実強化を図る	女性健康支援センターで日中の電話相談を実施	→ 日中の電話相談に加え、夜間の電話及びメール相談を受付。 電話相談受付後、必要に応じて面接等の対応を実施。
医療	医師確保対策 若手医師を確保するため、県外医学生向け修学資金貸与制度を創設	貸与制度なし	→ 対象者：県内出身の県外大学医学部5年生 貸与金額：10万円 貸与人数：10名
福祉	障害者差別解消推進(ヘルプマーク・ヘルプカード配付) ヘルプマークとヘルプカードの作成、配付、周知	ヘルプマークとヘルプカードを作成・配付し、その周知を図り、「群馬県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」に掲げる「障害者が必要な支援を求めやすい社会」の実現を目指す	<p>【ヘルプマーク】外見から分からなくても支援や配慮を必要としている方が、配慮を必要としていることを周囲に知らせることで、支援を得やすくなるためのマーク。</p> <p>【ヘルプカード】障害のある方などが、緊急連絡先や必要な支援内容を記載して携帯し、困ったときに周囲に提示して支援を求めるためのカード。</p>
安心・安全	高齢者講習等管理制度整備 高齢運転者の運転免許更新時の負担軽減	高齢運転者が運転免許を更新する際は、認知機能検査や高齢者講習を自分で教習所等に予約	自分で予約は不要(認知機能検査や高齢者講習の日時・場所をあらかじめ指定した通知書を更新対象者に送付)
教育	特別支援学校整備(高等部整備) 2018年4月に4地域で開設した高等部の施設整備	(受入校舎) ・沼田特支：仮設校舎 ・富岡特支：改修中の旧富岡東高校 ・吾妻特支：小・中学校の校舎 ・藤岡特支：仮設校舎	→ (受入校舎の変更) ・沼田特支：3階建て新校舎 ・富岡特支：改修後の旧富岡東高校 ・吾妻特支：改修後の旧吾妻高校 (受入校舎の工事) ・藤岡特支：2020年度から受入できるよう校舎新築工事を実施
	特別支援学校スクールバス等導入 児童生徒・保護者の通学負担を軽減するため、スクールバスを導入	28台(13校)運行	→ 34台(14校)運行 ・新規運行開始：沼田特支 ・運行路線増加：二葉特支 二葉高等特支 吾妻特支
	特別支援学校作業学習充実 農福連携をさらに進めるため、農作業学習のある学校の設備を充実	・従来の農作業学習に加え、現地実習を受け入れる農家等のニーズに合わせて、ビニールハウス内の作業や農機具等の管理などができるよう、設備を充実。	
	運動部活動指導員配置促進 公立中学校に、実技、安全指導、大会への引率等を行う運動部活動指導員を配置	中学校36校に配置予定 ※県全体の公立中学校数の1/4	→ 中学校78校に配置予定 ※県全体の公立中学校数の1/2程度
	県立学校ICT環境整備 特別支援学校及び高等学校等にICT機器を導入	・動画や画像を活用した授業を行うことにより、児童生徒の学習への興味・関心を高め、学力向上につなげるため、特別支援学校及び高等学校等にICT機器(プロジェクタ・テレビモニタ等)を導入。	
交通	舗装の修繕 幹線道路、観光道路や生活道路の舗装を修繕	舗装がひび割れたり、凹凸で修繕の必要な延長は約270km	→ 約57kmの修繕を実施
その他	多文化共生総合相談窓口開設 多言語で行政・生活全般の情報提供を行い、相談に応じる一元的窓口の開設	・5カ国語の通訳職員を配置するほか、音声翻訳機の導入により多言語で相談に対応。 ・弁護士、行政書士、社会保険労務士や入国管理局職員による専門相談を定期的に実施。	